

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年4月23日 (2009.4.23)

【公表番号】特表2008-539184(P2008-539184A)

【公表日】平成20年11月13日 (2008.11.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-045

【出願番号】特願2008-508156(P2008-508156)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/20 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/12

A 6 1 P 31/20

A 6 1 P 43/00 1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月5日 (2009.3.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

異なるHPV型由来のヒトパピローマウイルスL1タンパク質またはその免疫原性断片により先に誘発された免疫応答を増強するための医薬の製造において使用するための、1 種の第 1 のHPV型由来のヒトパピローマウイルスL1タンパク質またはその免疫原性断片。

【請求項 2】

第 2 の型が系統発生的に前記第 1 の型と関係する、請求項 1 に記載のヒトパピローマウイルスL1タンパク質またはその免疫原性断片。

【請求項 3】

L1タンパク質またはその断片を含むHPV16ワクチンに対する免疫応答を増強するための医薬の製造において使用するための、HPV31もしくはHPV52 L1タンパク質またはその免疫原性断片である、請求項 1 または 2 に記載のヒトパピローマウイルスL1タンパク質またはその免疫原性断片。

【請求項 4】

L1タンパク質またはその断片を含むHPV16ワクチンに対する免疫応答を増強するための医薬の製造において使用するための、HPV31タンパク質またはその免疫原性断片である、請求項 3 に記載のヒトパピローマウイルスL1タンパク質またはその免疫原性断片。

【請求項 5】

L1タンパク質またはその断片を含むHPV16ワクチンに対する免疫応答を増強するための医薬の製造において使用するための、HPV52タンパク質またはその免疫原性断片である、請求項 3 に記載のヒトパピローマウイルスL1タンパク質またはその免疫原性断片。

【請求項 6】

L1タンパク質またはその断片を含むHPV31またはHPV52ワクチンに対する免疫応答を増強するための医薬の製造において使用するための、HPV16 L1タンパク質またはその免疫原性断片である、請求項 1 または 2 に記載のヒトパピローマウイルスL1タンパク質またはその免疫原性断片。

## 【請求項 7】

L1タンパク質またはその断片を含むHPV31ワクチンに対する免疫応答を増強するための医薬の製造において使用するための、HPV16 L1タンパク質またはその免疫原性断片である、請求項 6 に記載のヒトパピローマウイルスL1タンパク質またはその免疫原性断片。

## 【請求項 8】

L1タンパク質またはその断片を含むHPV52ワクチンに対する免疫応答を増強するための医薬の製造において使用するための、HPV16 L1タンパク質またはその免疫原性断片である、請求項 6 に記載のヒトパピローマウイルスL1タンパク質またはその免疫原性断片。

## 【請求項 9】

L1タンパク質またはその断片を含むHPV18ワクチンに対する免疫応答を増強するための医薬の製造において使用するための、HPV45 L1タンパク質またはその免疫原性断片である、請求項 1 または 2 に記載のヒトパピローマウイルスL1タンパク質またはその免疫原性断片。

## 【請求項 10】

L1タンパク質またはその断片を含むHPV45ワクチンに対する免疫応答を増強するための医薬の製造において使用するための、HPV18 L1タンパク質またはその免疫原性断片である、請求項 1 または 2 に記載のヒトパピローマウイルスL1タンパク質またはその免疫原性断片。

## 【請求項 11】

HPV31 L1タンパク質またはその免疫原性断片と、HPV45 L1タンパク質またはその免疫原性断片との組合せを含むワクチン組成物であって、該ワクチンはHPV16もしくはHPV18 L1タンパク質またはその免疫原性断片を含まない、前記ワクチン組成物。

## 【請求項 12】

HPV52 L1タンパク質またはその免疫原性断片を含む、請求項 11 に記載のワクチン組成物。

## 【請求項 13】

いずれの順序でも送達でき、かつ適切な時間間隔をあけて送達されることによるHPV感染および/または疾患に対する防御において使用するための第 1 および第 2 のワクチン組成物を含むキットであって、該第 1 のワクチン組成物は少なくともHPV16およびHPV18由来のL1タンパク質またはその免疫原性断片を含み、該第 2 のワクチン組成物は該第 1 のワクチンのHPV16およびHPV18 L1成分を含まないが少なくとも 1 種の他の発癌性HPV型由来のL1タンパク質またはその免疫原性断片を含む、前記キット。

## 【請求項 14】

前記第 1 のワクチン組成物がHPV16およびHPV18 L1タンパク質またはその免疫原性断片を含み、前記第 2 のワクチン組成物がHPV31およびHPV45タンパク質またはその免疫原性断片を含む、請求項 13 に記載のキット。

## 【請求項 15】

前記HPV L1タンパク質がウイルス様粒子の形態である、請求項 13 または 14 に記載のキット。

## 【請求項 16】

前記第 1 もしくは第 2 のワクチン、または両方がアジュバントを含む、請求項 13 ~ 15 のいずれか 1 項に記載のキット。

## 【請求項 17】

前記アジュバントが3D-MPLを含む、請求項 16 に記載のキット。

## 【請求項 18】

前記アジュバントがアルミニウム塩を含む、請求項 16 に記載のキット。

## 【請求項 19】

前記アジュバントがアルミニウム塩および3D MPLを含む、請求項 17 または 18 に記載のキット。

## 【請求項 20】

前記アジュバントが水中油型エマルジョンアジュバントおよび3D-MPLを含む、請求項1  
7に記載のキット。

【請求項 2 1】

前記水中油型エマルジョンが代謝性油、ステロールおよび乳化剤を含む、請求項2 0に  
記載のキット。